

# 国登録有形文化財 旧吉岡家住宅 春の公開

～日本画家・吉岡堅二の  
息吹が感じられるアトリエ～



法隆寺金堂壁画模写(部分)のうち右上部の菩薩図。旧吉岡家住宅の公開では、

**初**めて展示します。

## 令和6年5月24日(金)～5月26日(日)

時間:午前10時～午後4時(入場は午後3時30分まで)

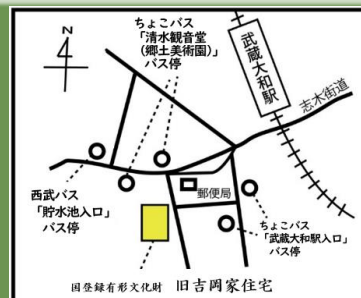
会場:国登録有形文化財 旧吉岡家住宅

(東京都東大和市清水3-779) 入場無料

- 主屋内に吉岡堅二の作品を展示します。今回は法隆寺金堂壁画模写の中でも、これまでの旧吉岡家住宅 春・秋の公開では未公開であったものを展示します。
- 会場では文化財ボランティアによる「おうちガイド」のほか、ワークショップ「植物染め体験」を開催します。
- 図録・ポストカード・一筆箋を販売します。



詳細はホームページをご確認ください。『旧吉岡家住宅 春の公開』↑



### 交通案内

- 西武多摩湖線「武蔵大和駅」から徒歩5分
- ちよこバス(市内循環バス)で「清水観音堂(郷土美術館)」下車徒歩1分
- ※駐車場には限りがあります(全4台)。できるだけ公共交通機関・徒歩・自転車等でお越しください。



## 東大和市ゆかりの日本画家・吉岡堅二

吉岡堅二は明治39(1906)年、日本画家・吉岡華堂(かどう)の次男として現在の東京都本郷に生まれました。15歳の時、画家を志し、父と同門であった野田九浦(のだきゅうほ)の画塾に入門しました。狩野派の流れをくむこの画塾で、伝統的な日本画の基礎を身につけ、父譲りの画才を開花させました。

終戦までに、新日本画研究会や新美術人協会といった在野運動を展開し、戦後は現在の創画会の前身となる創造美術を結成するなど、昭和期における日本画の革新運動を牽引しました。

東京藝術大学で教鞭を執り、中世オリエント遺跡学術調査団員としてトルコでの壁画模写や、法隆寺金堂壁画模写事業にも従事しています。



## 国登録有形文化財・旧吉岡家住宅

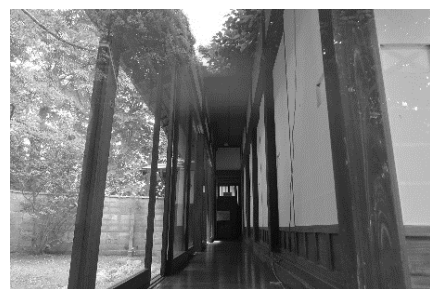
旧吉岡家住宅は、農家で名主を務めた池谷藤右衛門(いけやとうえもん)によって明治中期に建てられました。平成29(2017)年5月2日付けで、旧吉岡家住宅(主屋兼アトリエ、蔵、長屋門、中門)が国の登録有形文化財になりました。

## 文化財ボランティアによる『おうちガイド』

時 間：開催期間中の毎日2回 (1) 午前11時～、(2) 午後2時～  
集合場所：旧吉岡家住宅入口の長屋門付近に、上記の時間にお集まりください。

吉岡堅二画伯の作品や登録有形文化財となった主屋兼アトリエ、蔵、長屋門、中門について、文化財ボランティアが解説をします。上記時間以外にも解説をご希望される方は、スタッフに声をおかけください。

※参加費・事前申込不要



## 主屋内には吉岡堅二の作品を展示します

堅二が描いた花や鳥などのモチーフには、百人一首の歌の中にも登場するものも数多くあります。

この花やあの鳥はどんな和歌に詠まれているのか、ちょっと視点を変えて絵画を鑑賞してみませんか。

会場で解説シートもお配りします。

※ 図録・ポストカード・一筆箋を販売します。

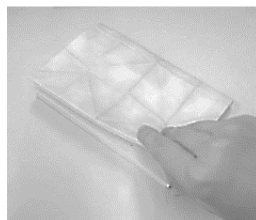


## 体験コーナー【植物染め】

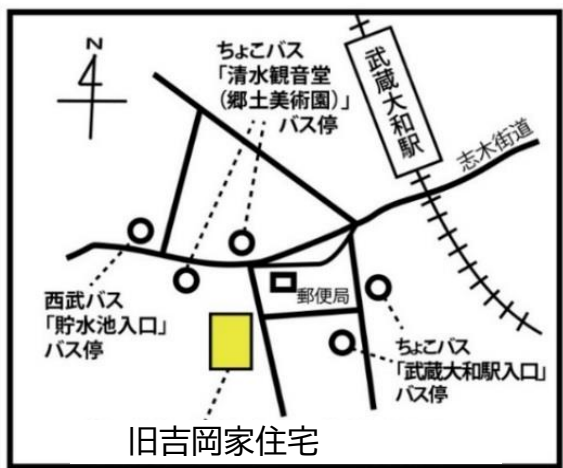
吉岡家住宅の庭に植えられている植物を使って、和紙で植物染めを体験してみませんか。

お庭でさっと染めて、そのままお持ち帰りいただけます。ブックカバーにおすすめ！

- 公開期間中 ①午前10時半～  
②午後1時半～
- 参加費・事前申込不要



←旧吉岡家住宅  
春の公開



## 交通案内

- ・西武多摩湖線 「武蔵大和駅」から徒歩5分
- ・ちよこバス(市内循環バス)で「清水観音堂(郷土美術園)」下車徒歩1分

※駐車場には限りがあります(全4台)。できるだけ公共交通機関・徒歩・自転車等でお越しください。